

「白髪のかすり」

「白髪のかすり」と別名を持つタデ科の薬草があります。生薬名を何首烏(カシユウ)といいます。

昔々の中国で、

白髪に悩んでいた「何(か)」さんが飲んで「首から上(頭髮)」が「烏(カラス)」のように黒く若返り、肌つやが良くなり、子宝にも恵まれたことから何首烏という呼び名がつけました。

中国医学には「髪は腎の華」や「髪は血余」という考えがあります。

これは、過労・ストレス・加齢などで、腎の働きや栄養が低下してくると、腎を映す鏡である髪

の艶が無くなってきた介護などをきっかけに白髪が増えるのは、まさにそれらが原因と言えるでしょう。

ます。



〈第一話〉

タデ科のツルドクダミの根っこである何首烏は、腎と血液の両方をバランス良く、穏やかに補う作用を持ち併せているので、白髪の予防に期待ができるのです。

また、体の血液の余りが髪に行くので、血液の不足は、まず髪に影響するという意味です。

出産や育児、更年期、

◆飯島仁生堂薬局本店
足立区千住1-19-8

☎38881・2273

<http://www.jinsei>

ido.co.jp